

十八年度の物動と交通

輸送の一體化

[illegible]

奪火鎮攻略は寸前

必至必成の道へ蹶然起て



薩國は東亞において、歐羅巴の
 諸國に劣らざる地位を占め、
 其の必勝無き戦い正兵隊の原資
 を薩國の諸國に配賦す、さきに
 薩大なる海軍艦隊を有する、
 今や陸軍の防備艦隊は常々本土を
 中心に、原五千キロの艦隊を有つ
 てる、其間内へ含まれ大體おつ
 する大なる諸國は、さきに
 薩國にあり、この艦隊を有する艦
 隊は、薩國に劣らざる地位を占め、
 其の必勝無き戦い正兵隊の原資
 を薩國の諸國に配賦す、さきに
 薩大なる海軍艦隊を有する、
 今や陸軍の防備艦隊は常々本土を
 中心に、原五千キロの艦隊を有つ
 てる、其間内へ含まれ大體おつ
 する大なる諸國は、さきに
 薩國にあり、この艦隊を有する艦

全國民の協力を切望

[illegible]

需要部門は壓縮さる

[illegible]

交へ三機を配置、九機を地上に
別に前線飛行云地建設を猛進し

[illegible]

英の護送艦艇大損傷して退却す

[illegible]

前内相勅選

[illegible]

に強烈な増力力を増出し、近海に結構な
いふ増を確立した本。微熱、咳、痰、
下痢、便秘等の苦惱は、増力の増生と
密かに一貫せられよ。

新生の大地 結婚後者が死生の境から奇しくも致
 はれ喜びの新天地に開れたといふ奇
 蹟と奇蹟を超えた貴重なお話書 六四八頁 隔隔の原因を探
 究し追跡に達した配稿の本を
 右二冊 無代進呈 大阪市大寺町石ヶ計町日本前
 庄村研究所

[illegible][illegible]

本書には皇威を宣揚した政治家として、群衆を人間としての、秀吉の真面目が威風として、異の日本外史を題材としての著者独自の解題

東大 陸
號四第 號四第
戰時經濟の合理化
小島 精一
戰刑法と憲法問題
三田村 武夫
☆ 星ノ野をめぐりて
平野 信治 郎
同時代觀 (明治型) (現代)
二宅 雪嶺
局版出志會同方東

人生と青年
時局と青年
大東亞と青年
大東亞と青年

武小路
下野信太郎
伊藤文雄
山田文雄
金澤文雄

結婚と青年
大東亞經濟と

[illegible]

日本教養論 井乃香樹
宗と日蓮 澤田 肇

農業世界

★ 第四十五號 四月號 ★

(特輯) 戰時作物と肥料の活用

戰時作物と肥料の活用

戰時作物の生産と肥料の活用は、戦時下の重要な課題である。本誌は、戦時下の農業生産と肥料の活用について、最新の調査と研究を掲載する。戦時下の農業生産と肥料の活用について、最新の調査と研究を掲載する。

肥料の活用

肥料の活用は、戦時下の重要な課題である。本誌は、戦時下の肥料の活用について、最新の調査と研究を掲載する。戦時下の肥料の活用について、最新の調査と研究を掲載する。

戦時作物と肥料の活用

戦時作物の生産と肥料の活用は、戦時下の重要な課題である。本誌は、戦時下の農業生産と肥料の活用について、最新の調査と研究を掲載する。戦時下の農業生産と肥料の活用について、最新の調査と研究を掲載する。

肥料の活用

肥料の活用は、戦時下の重要な課題である。本誌は、戦時下の肥料の活用について、最新の調査と研究を掲載する。戦時下の肥料の活用について、最新の調査と研究を掲載する。

館文博京果
 橋本日 ★ 二条 餃五十五個 號月四
 (輯特) 戰 農 種 甘
 樂節更田原計 蜜 芥 菜 人
 無大下魚說
 料有海龍得
 的的池室
 的的池室
 限定 定規

スターレイ 鑛山施設の設計 久留米大工義夫 江沼源次郎 價 6.00 円

ハンナ・ケネディ 堰堤の設計 京城大助教授 丸安隆一郎 價 6.01 円

テラー 内燃機 東京航空研究所技師 能谷俊孝 價 4.00 円

リンドgren 鑛床學 上巻 6.50 円
古河鑛業株式 照井武雄 著 5.85 円

ザン 採炭工程ブック 船橋 3.33 円
三菱鑛山 鈴木二朗 著 3.33 円

ケルソ 鑛山設備設計圖集 7.00 円
工友社 勝 著 5.60 円

ヤング 採鑛學要論 上下 5.60 円
技師技師 依田友安 著 5.38 円

フェウバル 應用化學 材料鑛 6.00 円
京城大助教授 最上武雄 著 5.85 円

東京市芝區南久松町二ノ一
辰 鑛業大 八〇〇三四番

工元社

[illegible][illegible]

櫻井町日婦の

と見上げた井岡の顔の中に、
 何も掛けぬ涙が光つて見えたの
 公子は、ハツと胸をつかれた。
 「公子さん」と
 と、井岡は遠くやうにうつそ
 「あなた達のその申出は、とて
 難い。よくいつてくれた。感
 ます。しかし今これからア
 イダの處へ出かけるのは、好
 んだを選がやうなものだと思
 う。アルメイダだつて、もう

資材として、漆に銀、銅、通信
 機、航空機、火藥、酸類などに
 必要な白金の回収を來る六月
 から十日間、京城府官廳に
 て運動を開始する。回収の對
 象は、
 白金金品（一知
 九百九十八以上）
 白金製品（同
 九百九十五以上九百九
 十五圓五錢）
 白金（同、一
 十五兩、廿四圓

【圖】 會の演藝 一安

滿洲視察の打木氏宅

大東亞をめぐら派遣された小股隊
打木村治氏は約一ヶ月間の旅程

朝鮮國境沿の状況を観察のため
を越へ爾來廿日京城
のやうに語る

「滿洲の開拓民は望な

ある、國に野良に出て黄昏に小さな小屋にかへつて來ては福國國長を働んで或は富強國治の詩を朗讀したり、或は時局問題の議論を聞いたりして廢休につこといふ一時の休みのない建設計画である。

[illegible][illegible]

國經し平安南道總兵を拜命、同
京路進へ國動、同十年二月京
務密告局を最優として退官、
後朝鮮銀行に入り、同十四年辭
退して朝鮮工務株式會社取締
就任した、氏は京城府の出身
で京城府南門一八三に住んで
年齡卅九

る、自説を聞いては平井生乳が内
地生乳が全然別物がつかない、こ
の出来た時は多分つたが今度来て
見ると、雲でより實に美しい、こ
の長足の進歩をとげつつある。生乳
の青年が廣兵衛を期して日本生乳
能に日本文化の體格をもつて現職
能に日本文化の體格をもつて現職

二年、道信王孫を命ぜられ、次天
手宮界を退いた、それよりゆめ
水宮湖而國員を擧り出しし
面の公體に就いたが、昭和二年
道群臣に當選、同八年に庄
選薦いを命ぜられた、東京協
和二年、道信王のよ

★新報國環
造改
五月十八日
翼空
總力
陸軍
小說

新しき任務(二)

『井國先生』

思はず、葵子は醫低く叫んで、

三が、井國に迫つた。

『えー』

と見上げた井國の顔の中に、思

[illegible]

彼女は驕傲にうへ、
「わやあ、あたに……」
「さう。アルスエの素性ど、
れから、あの終局内を節制時
間べてもらひたのだ。簡単に
ると、最近、さかに頭腦の
器用が行はれてゐるらしい。

本町一丁目
電話三三三
東京府所屬
文房具
南島 卸賣
東光

壯年團論清水伸
史の一斷想廣文
戰の重點遂行
落下傘部隊火野平
色の反物井伏鱒二
の現實
松本重治
大川周
廣田弘明
小島政博

[illegible]

昭和十三年三月三十一日現在

東京市丸の内區千代田三丁目一番地

電話 二二八二

昭和十三年三月三十一日現在

東京市丸の内區千代田三丁目一番地

電話 二二八二

昭和十三年三月三十一日現在

東京市丸の内區千代田三丁目一番地

電話 二二八二

城寶

新子と本立

一一金ちゃん

二金ちゃん

三金ちゃん

男子

女子

希望

迄左

京

城寶

新子と本立

一一金ちゃん

二金ちゃん

三金ちゃん

男子

女子

希望

迄左

京

城寶

新子と本立

一一金ちゃん

二金ちゃん

三金ちゃん

男子

女子

希望

迄左

京

[illegible]

